令和７年度
原子力安全に係る品質目標

1．1　原子力安全及び保障措置を調和させた上で、安全確保を最優先に業務を実施する。※1

1．2　組織風土改革を継続する。※1

1．3　現地対策本部機能の向上を図る。

1．4　リスク発生時の対策をあらかじめ想定し、先手のリスクマネジメントにより、影響の最小化及び対応の迅速化を図る。

2．1　廃止措置に係る業務を廃止措置計画に基づき、安全かつ着実に進める。※1

2．2　関係法令及びルール（自ら決めたことを含む）の遵守を徹底する。また、社会との約束を守る。※1

2．3　DX（Digital Transformation）を推進する。

3．1　情報共有及び相互理解に、不断に取り組む。※1

4．1　保安に関する業務の品質目標と活動に対する定期的なレビューにより、QMSの継続的な改善を徹底する。※1

※1　施設管理目標も兼ねる

新型転換炉原型炉ふげん

水井　宏之